



## 日本語・日本文学プログラム

細部に目を凝らし、  
作品を深く読み解く

私は、日本近代文学を担当しています。谷崎潤一郎と芥川龍之介の間で行われた文学論争を軸にして、両作家の文学作品の研究を行うとともに、大正期の文芸思潮の研究を行っています。私が授業を担当する日本語・日本文学プログラムでは、様々な時代の言葉や作品の意味を、文献資料を読んだり、聞き取り調査を行ったりして解明していくところに大きな特徴があります。ただし、言葉や作品の意味を表面的に理解すればよいというわけではありません。言葉や作品の背後には常に、その時代の人間の心が存在しています。そのため、言葉や作品の意味を解明することによって、人間の心や時代の姿の本質を明らかにしていくことを目指しています。時代の中に埋もれている、しかし、その時代を生きた人間には確実に実感されていた何かが、それにより照らし出されてくると思います。

### 学べる科目

日本語学概論、日本文学概論、日本古代文学基礎演習、日本語史基礎演習、現代日本語論基礎演習、日本中世文学基礎演習、日本近代文学基礎演習、現代日本語論演習、日本語史演習、日本古代文学演習、日本中世文学演習、日本近代文学演習、日本近代文学論、現代日本語論、日本語調査実習、日本古代中世文学史、日本近世近代文学史、日本語史、日本文学論、日本古典文学論、日本文学史論

### 進路、就職先

【企業等】香川銀行、高知銀行、高知信用金庫、高知放送、三翠園、JA岡山、JA土佐あき、JTB、四国銀行、日本放送協会（NHK）、野村証券、百十四銀行 【公務員・教員】高知県庁、土佐市役所、西脇市役所、徳島市役所、真庭市役所、木津川市役所、高知県高等学校教員、高知県中学校教員、千葉県高等学校教員、神奈川県高等学校教員、滋賀県高等学校教員 【大学院進学】高知大学大学院、広島大学大学院



田鎖 数馬 准教授（京都府出身）

【専門分野】日本近代文学  
【研究テーマ】芥川龍之介研究、谷崎潤一郎研究、大正期の文芸思潮の研究  
【学位】博士（文学）  
【著作】『谷崎潤一郎全集』第四巻（共著）『芥川龍之介ハンドブック』（共著）他多数

卒業生からの  
メッセージ

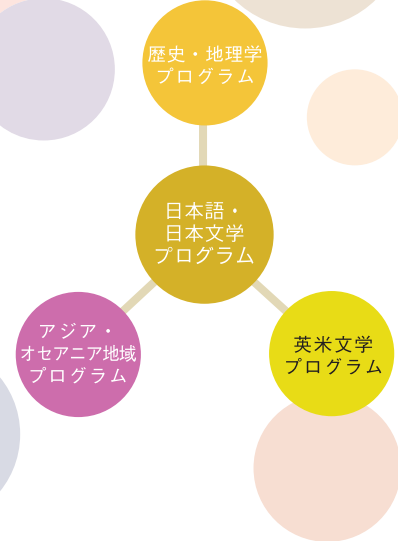


高知大学 大学院進学 大黒 華さん  
(高知県出身、高知県立高知小津高等学校卒業)

大学で学んだ谷崎潤一郎の作品に関心を持ち、さらに深く研究するために大学院に進学しました。現在は、谷崎だけではなく他の近代の作家や古典文学にも勉強の幅を広げています。将来は、大学・大学院で学んだ日本文学の専門的な知識を活かして、高校の教員になることを志望しています。

プラットフォームと各プログラムの相性

日本文学・日本語学を学ぶために、プラットフォーム科目の中では、日本文学概論・日本語学概論などの専門に直結する科目の他、日本史概論・中国文学概論・外国語としての日本語など、関連する諸分野の科目を履修し、理解を深めていくことが重要です。歴史・地理学、英米文学、アジア・オセアニア地域などのプログラムは、日本文学・日本語学を学ぶ上で重なり合う点もあり、研究テーマや希望する進路によっては、これらのプログラムを併せて履修することで、幅広い学習をしていくこともできます。



ゼミ紹介

ゼミの概要

日本中世文学ゼミでは、少人数で、大鏡・今昔物語集・平家物語などの平安末・鎌倉期の散文作品を取り上げて読んでいます。はじめは、その場で資料を開いて確かめながら、疑問と思う点の調べ方や参考文献について触れつつ講読を進め、慣れてきたら、受講生が各自担当部分を決めて発表形式で演習を行います。

ゼミの雰囲気

教員や他の受講生との距離が近く、じっくりと学ぶことができます。演習室で実際に資料を開いて説明を受けることができ、資料の使い方やどの場合にどの資料を使って調べれば良いのかをその場で教えてもらえるため、資料の使い方が定着しやすいです。卒論までの準備期間としてとてもためになります。(学生の声)

ある2年生(教員免許取得希望)の「日本語・日本文学プログラム」時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限		中等国語科指導法Ⅰ	生徒指導	教育相談	
2時限		日本語学概論Ⅰ	中国語中級Ⅰ		中国語中級Ⅰ
3時限	専門英語Ⅰ	中国文学概論Ⅰ		専門英語Ⅰ	日本語論Ⅱ
4時限	特別活動指導法	宗教学概論Ⅰ		基礎演習 古代文学 日本語史	日本古代中世文学史
5時限	日本文学論Ⅱ	日本古典文学論Ⅱ		日本文学概論Ⅰ	